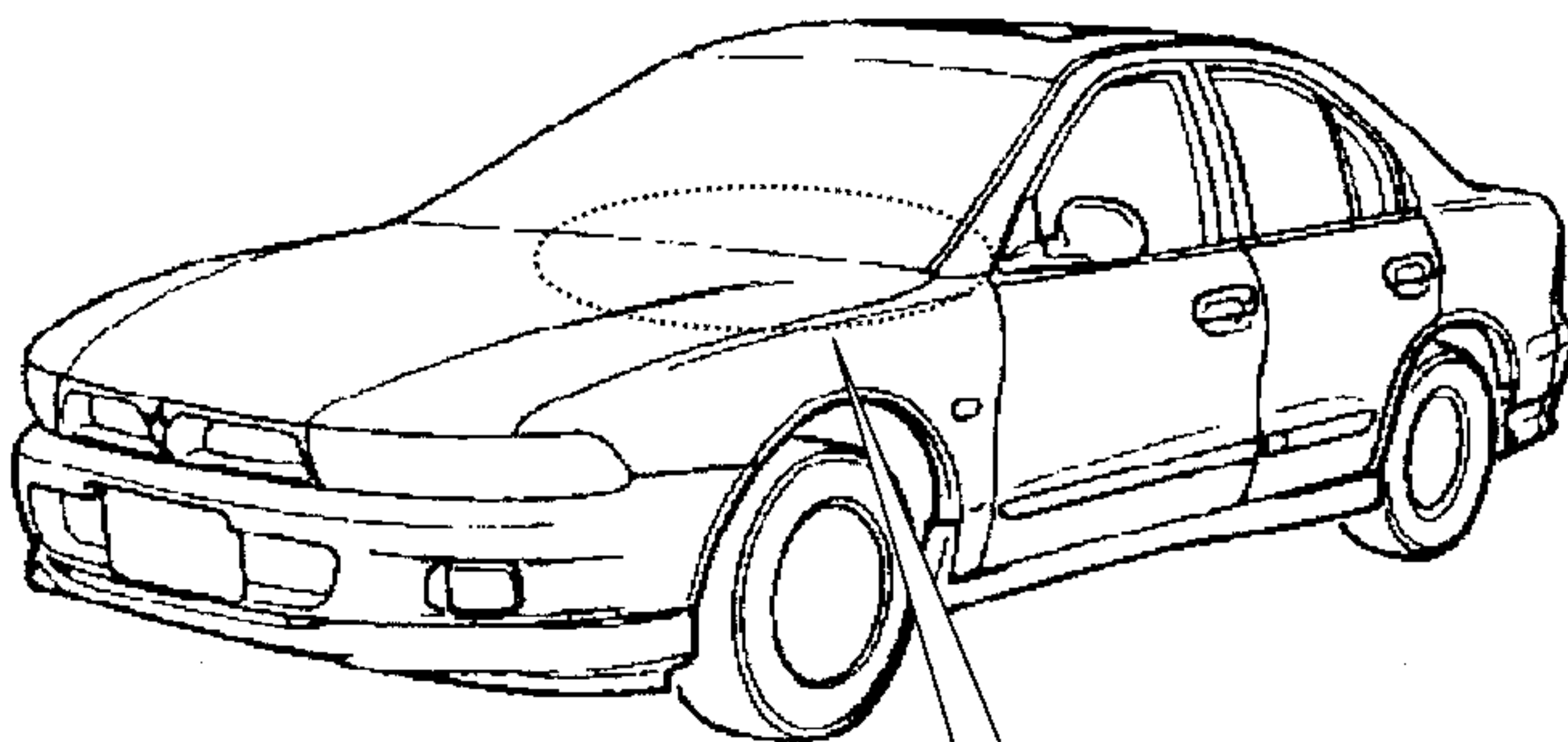
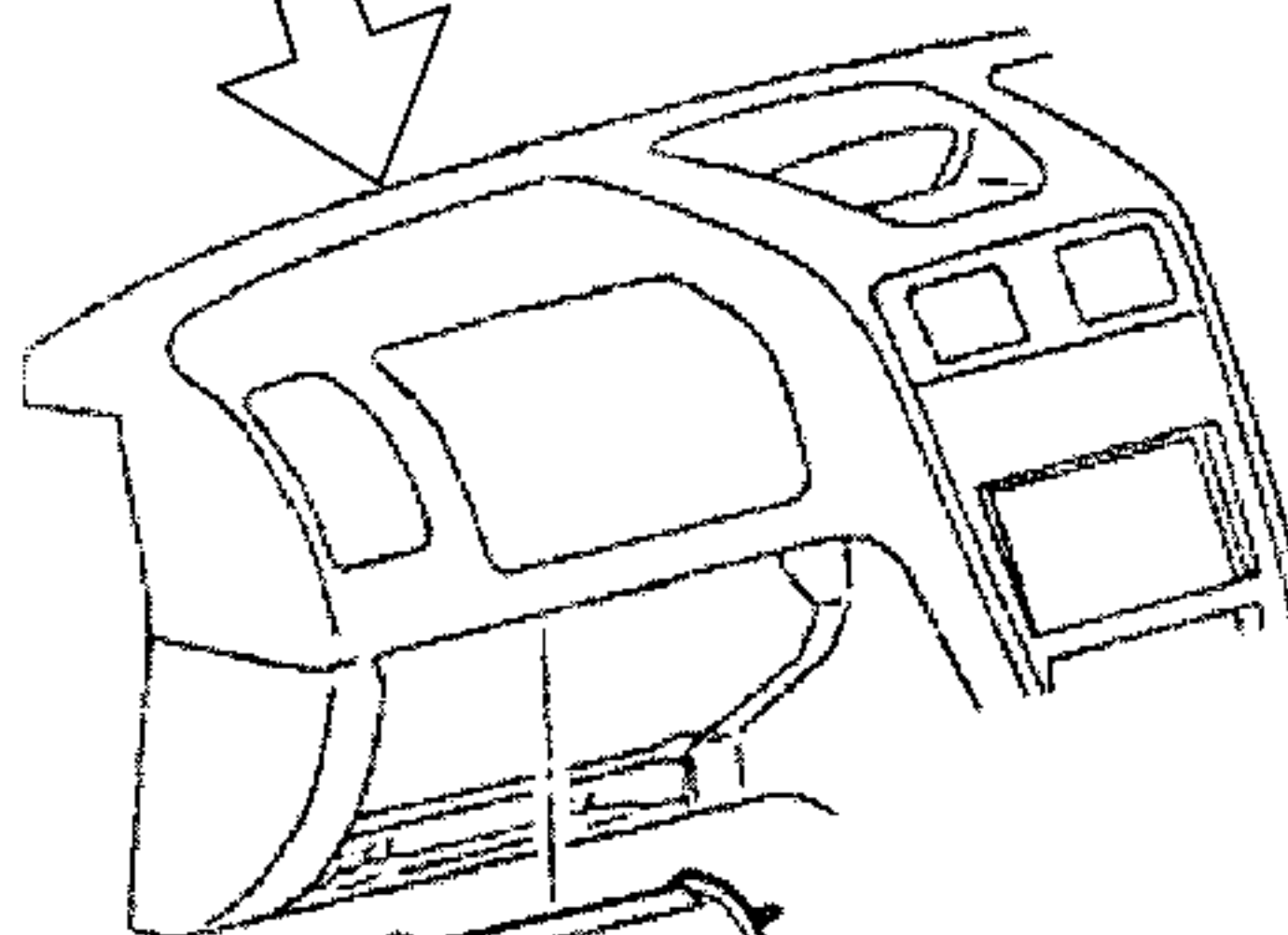


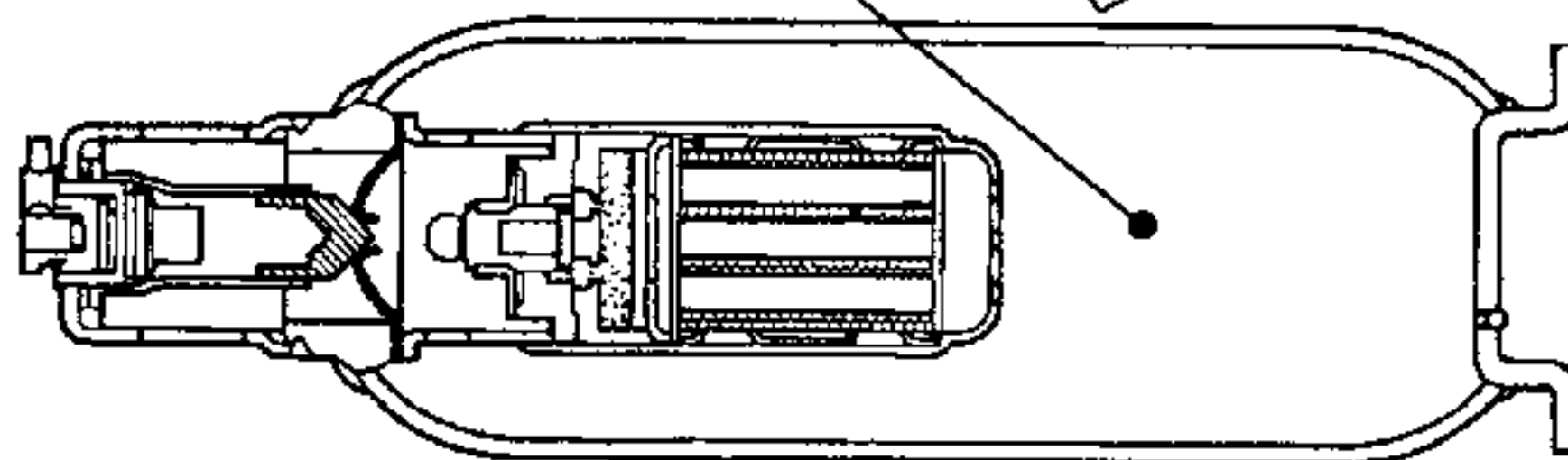


助手席エアバッグのインフレーター（膨張装置）において、誤った判定値により気密性検査を行ったため、気密性が不十分なものがある。そのため、エアバッグが作動した際、インフレーター内封入ガスの圧力不足により、エアバッグの展開が遅れ、最悪の場合、前面衝突時に乗員に過度の障害を与えるおそれがある。



助手席エアバッグ

基準不適合発生箇所
(インフレーター)



改善の内容

全車両、助手席エアバッグのインフレータの製造番号を点検し、対象となるものは、助手席エアバッグ一式を良品と交換する。

注：図中の 内は交換部品を示す。

識別：後席右側ドアのアップーヒンジ上側取付けボルト頭部に白色または黄色のペイントを塗布する。